

令和元年度 十和田市指定管理者総合評価シート(市⇒指定管理者)

施設名	十和田市馬事公苑		
指定管理者名	特定非営利活動法人十和田馬主協会		
指定期間	5年中3年目	平成29年4月1日	～ 令和4年3月31日
施設概要	本市の発展にかかわりの深い馬事・農事文化を地域資源として活用し、本市の観光振興及び賑わいと触れ合いの場の創出を図るとともに、馬に関する歴史及び文化を永く後世に伝える。		
指定管理者の業務	①施設の使用許可に関する業務 ②利用料金の収受に関する業務 ③施設・設備の維持管理に関する業務 ④馬の飼養、管理に関する業務 ⑤顧客事業に関する業務		
指定管理に要する総事業費	68,366	千円	
指定管理に要する総人件費	33,928	千円	
指定管理施設で就業する全職員数	常勤職員	11人、非常勤職員	2人

施設所管課	商工観光課
-------	-------

評価項目	評価の視点	評価	評価の理由		
管理運営状況	開館時間、休館日の状況	施設によるサービスが協定等に基づき適切に提供されている。	B	施設によるサービスが適切に提供されている。	
		協定等で定めた利用時間が遵守されている。	B	業務基準書で定めた利用時間が遵守されている。	
		協定等で定めた利用日が遵守されている。	B	業務基準書で定めた利用日が遵守されている。	
		協定等で定めた利用期間が遵守されている。	B	業務基準書で定めた利用期間が遵守されている。	
管理運営状況	使用許可及び減免の状況	手続が円滑に行われている。(手続に要する書類が整備されているか)	B	条例及び規則に基づき手続が円滑に行われている。	
		処理が適正に行われている。(事務処理に時間を要していないか)	B	事務処理は適正に行われている。	
管理運営状況	適正な人員配置	適正な判断基準により減免されている。(減免すべきものを徴収、又は減免すべきでないものを減免していないか)	B	条例及び規則に基づき適正に減免されている。	
		施設サービスの提供のため、必要な人員数が確保されている。	B	業務基準書で定めた適切な人員が配置されている。	
		法令等に定められている人員配置基準を満たしている。	B	法令を遵守し配置されている。	
		人員配置が過剰、過少ではない。(直営時又は類似施設と比較)	B	必要人員が適切に配置されている。	
管理運営状況	法令の遵守	必要な資格、経験を有する人員が適切に配置されている。	B	学芸員、経験者が適切に配置されている。	
		技能、技術等を維持向上するための研修等を定期的かつ適切に実施している。	B	必要な研修を適切に実施している。	
		関係法令を遵守していると認められる。	B	関係法令を遵守していると認められる。	
		利用者が快適に利用できるよう、また、施設の安全な管理設備機器等について協定等に基づき、定期的に安全確認を行っている。	B	業務基準書に基づき必要な保守点検を定期的に行っている。	
管理運営状況	維持管理業務(清掃、整備など)	清掃について、清潔を保つために必要な回数が適切に実施されている。	B	業務基準書に基づき清掃業務、苑内の植栽管理など適切に実施されている。	
		利用者の安全を保つために必要な措置(立入禁止区域の指定及び危険箇所の注意喚起等)が適切に実施されている。	B	業務基準書に基づき安全措置が適切に実施されている。	
		協定に基づき、指定管理者が行うものとされる修繕について、適切に実施されている。	B	業務基準書に基づき必要に応じて適切に実施されている。	
		修繕内容について、市に報告が行われている。	B	業務基準書に基づき適切に報告が行われている。	
管理運営状況	文書の管理保存	法定点検が確実に実施されている。	B	業務基準書に基づき適切に法定点検が行われている。	
		施設の管理記録が整備されている。	B	業務基準書に基づき適切に整備されている。	
		管理記録(施設の利用状況及び定期点検の実施状況等の記録)について定期的に市に報告が行われている。	B	業務基準書に基づき定期的かつ速やかに報告されている。	
		管理記録、管理に係る書類等の保存が、適切に行われている。	B	業務基準書に基づき適切に保管管理されている。	
管理運営状況	報告書等の提出	事業計画、月別報告、事業報告その他報告等の提出や内容が適切である。	B	業務基準書に基づき報告等が適切に行われている。	
		管理終了後における引継ぎ		該当なし	
		備品の管理	業務の引継ぎや設備等の原状回復を適切に行った。		該当なし
			備品台帳を基に適切な管理が行われている。	B	備品台帳との照合等を実施し、適切に管理されている。
管理運営状況	サービスの向上に向けた取組	利用者への設備・備品の貸出について、問題が生じていない。	B	特に問題は生じていない。	
		提供・貸出について、利用者からの苦情が少ない。	B	特に問題は生じていない。	
		市民のニーズを踏まえて、施設サービス・事業等の見直しを市とともに的確に行っている。	B	アンケートの実施等により市民ニーズの把握に努めるとともに常に市と連携を取り協議的的確に行われている。	
		費用対効果の観点から、施設サービス・事業等の実施方法等を見直し、より効率的・効果的な実施に努めている。	B	費用対効果の観点から、より効率的、効果的なサービス、事業の実施に努めている。	
管理運営状況	自主事業	職員の接遇(言葉遣い、態度、服装等)が適切である。	B	職員の接遇は適切である。	
		接遇について、研修等を定期的かつ適切に実施している。	B	職員研修を定期的に行っている。	
		直営時と比較して、苦情が少ない。	B	特に問題は生じていない。	
		自主事業が積極的に開催され、施設の利用促進に大きな効果があった。	B	多種多様な特別展やイベントを実施し来苑者増に努めている。	
指定管理料	指定管理料の執行状況	自主事業が、施設の目的に沿って、市民等へのサービスの向上に貢献している。	B	施設の趣旨に沿ったイベントを開催し、サービス向上と共に集客増を図っている。	
		市と協定した予算の範囲内で、適正かつ効率的に予算を執行している。	B	適正に予算が執行されている。	
		利用料金制の適正な運用が行われている。(料金設定について協議を経ている。)	B	適正な運用が行われている。	
		利用料金収入のコストカバー率(利用料金収入/支出)について、直営時又は前年度実績と比較して、大きな変化がなく安定している。	B	前年度と比較して大きな変化なく安定している。(H30:2%、R1:2%)	
指定管理料	利用料金(使用料)の取扱い	徴収した使用料が適正に管理され、市に納められている。 ※使用料の徴収委託している施設に限る。		該当なし	

評価項目		評価の視点	評価	評価の理由
(指定管理料)	経費節減状況	費用対効果の観点から、経費を縮減する努力が行われている。	B	消耗品の使用方法や委託の見直しなど、経費縮減に向けた取組みが認められる。
		清掃、警備、設備の保守点検などの業務について指定管理者から再委託が行われた場合、それらが適切な水準で行われ、経費が最小限となるよう工夫されている。	B	適切な水準を保ちながら、委託業者との契約内容を精査し、経費が最小限となるよう努めている。
		利用者一人当たりのコスト(支出/延べ利用者数)について、直営時又は前年度と比較して、大きな変化がなく安定している。または利用者が増え、コストが低く抑えられていて効率的な運営が行われている。	B	前年度に比べ、大きな変化なく安定している。(H30:718円/人、R1:711円/人)
		外部委託率(外部委託額/支出)について、直営時又は前年度実績と比較して、大きな変化がなく外部委託し過ぎでない。又は率が低く抑えられており、経費節減に取り組んでいる。	B	前年度に比べ、大きな変化なく外部委託を行っている。(H30:16%、R1:17%)
	収入の増加	収入を増加するための具体的な取り組みがなされ、その効果があったか。	B	企画展示館が利用できなくなったことにより、空きスペースを上手く活用して企画展等を実施しているが、収入は減少した。
	自主事業を展開するなど、利用者数増等による収支改善の努力が行われている。	B	企画展示館が利用できなくなったことにより、空きスペースを上手く活用して特別展等を実施しているが、来館者数は減少した。	
経理区分	法人等の会計と指定管理料の会計が適切に区分されている。(口座が指定管理用として設けられている。)	B	適切に区分されている。	
危機管理対策	事故防止対策	利用者の安全確保対策を徹底している。	B	業務基準書に基づき適切に実施している。
		安全対策について、研修等を定期的かつ適切に実施している。	B	業務基準書に基づき適切に実施している。
		事故等の緊急時に迅速に対応できるように、責任者の設置や職員間の役割分担等の内部組織体制が適切に整備されている。	B	事故等への緊急対応マニュアルが適切に整備されている。
		事故等の緊急時に迅速に連絡・報告し、指示を受けるための連絡網や市との連絡体制が適切に整備されている。	B	事故等への緊急対応マニュアルが適切に整備されている。
		事故等の緊急時の職員の対応マニュアルが整備され、かつ、訓練等が行われている。	B	事故等への緊急対応マニュアルが適切に整備され、訓練が行われている。
		実際の緊急時には、適切に対応できている。	B	実際に発生しなかったが、迅速に対応し適切に報告する体制が整っている。
その他	保険の加入状況	賠償の規模が、市がこれまで直営で行ってきた賠償額と同程度以上である。(募集要項で要求していた基準を維持している。)	B	業務基準書に基づき適切に保険加入している。
	守秘義務	管理の業務上知り得た秘密の漏えい防止のために必要な措置が講じられている。	B	業務基準書に基づき適切に処理されている。
	個人情報保護	指定管理者が管理する個人情報について、漏えい、紛失等の事故防止対策が適切に講じられている。	B	業務基準書に基づき適切に処理されている。
		指定管理者が管理する個人情報について、目的外利用が行われていない。	B	業務基準書に基づき適切に処理されている。
	情報公開	管理を行う施設に関する情報の開示及び情報提供のために必要な措置が講じられている。	B	業務基準書に基づき適切に処理されている。
	連絡調整等	関係団体、地域との連絡調整等が、必要に応じ、適切に実施されている。	B	関係団体等との調整について常に市と連携を取り、適切に行われている。

【 指定管理者から市に対する要望・提言等 】 ※指定管理者から提出された自己評価シートに記載された事項をそのまま転記する。

◇老朽施設の管理計画について  
施設の老朽化に伴い緊急な修繕や買い替えが必要な備品が年を追って増加している。責任分担表に基づき修繕等を行っているが、10万円を超える修繕(同一の物品の修繕が累積して10万円を超える場合や緊急を要する場合)も当協会が負担する場合がある。老朽化したものについては使用不能となる前に協議の上、早期の管理計画(修繕を含む)を再度お願いする。  
◇指定管理料について  
指定期間5年間で指定管理料が変わらない現状での管理運営は非常に厳しい。昨今の物価、平均賃金の上昇による委託料の増額要求は節約の範囲で賄えるものではないと考える。都度の協議を検討したい。  
◇管理業務に従事する者の配置基準では、学芸員は1人となっているが、展示資料管理、特別展等企画・実施、及び団体対応の解説は建物の構造上1人で賄えるものではなく3人体制をお願いしたい。

【 講評 】 ※評価の結果について、総合的な評価内容を文章により記入する(指定管理者からの要望・提言等も含む)。

施設の設置目的を理解したうえで、指定管理業務基準書に基づいた管理運営を確実に実施している。  
施設の利用促進については、企画展示ホールが利用できなくなったが、空きスペースを上手く活用しての企画展の実施や独自のイベントの実施を通して、市直営時からの来館者数を確保している。  
施設の維持管理については、緊急な修繕等が発生した場合の市への迅速な報告が徹底されているほか、限られた指定管理料の中で支出を工夫し、経費の削減がなされている。  
以上の点から、総合的に良好な管理運営を行っているとして評価する。

評価項目	評価の視点	評価	評価の理由
------	-------	----	-------

確認欄

部長	課長	課長補佐	係長	係員